

華利陀

上品の懺悔とは、身の毛孔のうちに血を流し、眼のうちに血出すをば上品の懺悔と名づく。(中略) 流涙・流血等にあたはずといへども、ただよく真心徹するものはすなはち上と同じ。(善導『往生礼讃』)



法学部准教授 西 義人

やばい、尊い

やばいエッセイ

むかしむかし、「やばい」という言葉には肯定的な意味がありませんでした。若い人には実感がなにかもありませんが、『日本国語大辞典』「やばい」の項には今でも「危険や不都合が予測されるさまである。危ない」という意味だけが出ています。伝統的にはこの意味に限られるのです。それが現在では「これうちの犬の写真」「え、やばい」という会話が聞こえてきても、牙をむいている猛犬ではなく可愛い犬の写真を見せているのだからと普通に予想できるほど、肯定的な使われ方もおなじみになりました。

あるいは背く。それでも仏の慈悲の光は、生きとし生ける命みんなに等しく降り注いでくださっているのです。聞かせてもらおうと、私なんか、感覚的にビューンと涙がでるほど嬉しくなってしまうのです。ばかみたいですが、「私ばかだな」というのが浄土教の教えなのかなとも思っています。こんな解説の仕方をしていたら偉いお坊さんに怒られそうです。(中略) 私たちはいくら修行を積んだところで、煩惱を捨てることはできない、煩惱だらけの私たちをそのまま、舟に乗って浄土に連れて行ってくださると説かれているのです。やばくないですか、優しすぎて。逆にこれを疑わずに乗るほうが難しい。

宗の教えのいちばん大切なところを、こんなに易しく温かくリズムカルに表現することができると。そして、「やばくないですか」の絶妙さ。うわあ、こんな言い回しされちゃったらもう、やられたなあ、乏しい語彙で唸るばかりでした。でも考えてみればあちらはたくさん歌を作ったことされたプロ中のプロ。感性や言葉を磨く努力もしていない者にはうらやむ資格がありません。素直にありがたく味わわせていただきます。そんなことを思いつて今に至っているわけです。

「やばい」と「難い」がこれほど響いたのは、そのフレンドリーな語感もさることながら、「やばい」という言葉の二重性が、浄土真宗の教えの特徴に実によくフィットしていたことが大きな要因だったのではないかと、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

かといえ、先に説明した通り、「信じる」のではなく「信じさせられる」教え、救われる側の努力をまったく必要とせずにあらゆる者を平等に救うすべしであるからである。

改めて二階堂さんの文章を読んでみると、「やばくないですか、優しすぎて。逆にこれを疑わずに乗るほうが難しい」と、実はしつかり難信という文脈になっています。もしかし「難信」と同様の二重性を持つ言葉であることも意図して「やばい」を使用されたのかもしれない。

「一代諸教の信よりも弘願の信楽なほかたし難中之難」ときたまひ無過此難とのべたまふ(註釈版聖典、五六八頁)

「一代諸教」というのは、釈尊が一生の間に説かれたすべての教え(浄土真宗を除く)のこと。そして「弘願の信楽」というのは、煩惱だらけの私をそのままにしてくれるという阿彌陀仏の願(第十八願)を信じること、つまり浄土真宗の信心のことです。

この「難しい」を、思いきって「やばい」に置き換えて読んでみましょう。親鸞聖人がこの和讃にこめた感覚を、時代を超えて共有することができ、かもしませます。

親鸞聖人は六十三歳のころ、関東から妻の恵信公や子どもたちと共に京都に戻られています。帰洛後は、主著『教行信証』をはじめ、多くの聖教を執筆されました。そして聖人は弘長二年(一二六三)(旧暦では十一月二十八日、新暦では一月十六日)に、三条高小路にあつた聖人の弟尋有の坊舎(善法坊)で、午時(昼の十二時頃)に九十歳で往生されました。

大学若手職員からのメッセージ

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

⑥伝えたいこと

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

現代語訳

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

「過去を振り返って、『あの時があつて良かった。』そう思えて、人に話す日がきつってくる。」ほんの30年生きてきただけで、私はここで、常に自分を支えてくれるこの言葉に出会いました。私は一度転職して、前職は大学卒業後すぐに入社し、右も左も分からず戸惑いの多い毎日でした。学生時代にアルバイトをほとんどしたことと、働くという責任を負った経験がなかなかなかったのだと思えます。一方、規則に身だてないまま、今考えられる、学生気分がなかなかなかったのだと思えます。何もない教えであるから、私の側から信じようとする、かえって難信になるのです。

浄標
浄土真宗では親鸞聖人のご恩に報いるため、聖人の命日を中心に報恩講が営まれています。本学園でも毎年十一月初旬の土曜日に学園講堂で勤修されています。



発達教育学部教授 富村 誠

在職四半世紀を振り返る

板面に残るカエルの跡。着任最初に授業をしたC412教室の黒板には、平成7年以降に幾度となく書き表した学習キャラクター・カンガエルの跡が残っています(柔らかなさで定評がある羽衣チョークを使用しても食いつく思われず)。

路面に足音の響く。不便が多かった時期で、交通機関の不通、自宅の損壊等により、京都東山まで相当の労力と時間を費やして集ってくる学生たち。授業の少ない曜日には被災地でのボランティア活動に精励しながら出席している学生たちも多く、前任・広島大学附属東雲小学校での17年間に会った児童に通底する、物事に真摯に取り組もうとする態度、当たり前のことを当たり前に為すことができる真面目の豊かさに感動する日々でした。

「最近の若者は…」という苦言がピラミッドの内部壁面に落書きされているとのことですが、出会わせていただいている京大生は真面目に満ちた、「素敵な若者」です。私は、学生が教員になった際に役立つよう丁寧な板書に心してきました。パワーポイント画面の記載内容を資料として配付する形態が多くなった近時でも、板書を中心とした講義をすすめてきていました。配付資料を「読む」よりも、自ら「書く」方が主体的な学修法であり考える場を保障する言語活動であるからです。学生たちのノートづくりは実に見事な力作が目立ちます。「丁寧に、板書以外の説明まで書き留めていましてね」と褒めると「病気で休んでいる友だちが見ても分かるように…」と話すと学生の姿、『アカデミック・スキル』で1年生時に学修した「スペースには余裕を持つ」ポイントを活かして事後に用語説明等を書き加えている学生の姿に感動するものもありました。

短期大学部教育課程の魅力を増進する初等教育設置にかかる申請、履修上限単位設定やGPAをもとにした厳格な成績評価実施を伴う大学教育課程の改革、新寮新築や改築を前に何かと苦情が寄せられていた旧学生寮に於ける保護者・学生への対応、創立60周年記念教育研究発表会と「授業を語る会」の開催、そして、今般の現在も引き続きいる新型コロナウイルスに対応した新しい生活様式での小学校教育の推進等、異なる部局での、額に汗する職員による同質の連携の姿です。

京大は共助*共生の要。在職四半世紀をフリカエルと、京大は共助、共に助け合う雰囲気、満ちた学園であると気付かせていただいた次第です。「人」は人と人との間柄において「人間」となることができるだけに、「他者と共に生きること」ができる人間としての力」の基盤としての共助の心は、共生の要となる人間力のひとつです。自分の思い通りにならないことで他者を恨んだり争ったりする煩悩具足の凡夫であるからこそ、泥沼に咲きながら泥に染まらず泥沼を莊嚴する芬陀利華の如く生きようとすることが大事です。

私が本学園に奉職した平成7年4月、阪神淡路大震災の影響で諸事に不便が多かった時期で、交通機関の不通、自宅の損壊等により、京都東山まで相当の労力と時間を費やして集ってくる学生たち。授業の少ない曜日には被災地でのボランティア活動に精励しながら出席している学生たちも多く、前任・広島大学附属東雲小学校での17年間に会った児童に通底する、物事に真摯に取り組もうとする態度、当たり前のことを当たり前に為すことができる真面目の豊かさに感動する日々でした。

「丁寧に、板書以外の説明まで書き留めていましてね」と褒めると「病気で休んでいる友だちが見ても分かるように…」と話すと学生の姿、『アカデミック・スキル』で1年生時に学修した「スペースには余裕を持つ」ポイントを活かして事後に用語説明等を書き加えている学生の姿に感動するものもありました。書く活動は読む活動よりも、手間も時間もかかる面倒な活動です。その面倒さに挫けることのない、真面目に満ちた学生の姿を振り返ると、確かな手ごたえを感じるようになります。素敵な学生と出会ったことに感謝するとともに、その姿が今後とも引き継がれることを念じます。

また、附属小学校長としての日々では、例えば、授業公開に向けての研究授業、学習指導案の検討、作成に向けた協議に努める姿、また、時差を設けた登下校時にコロナ禍を避けるため自家用車で送迎する場を安全に保つことができるようグラウンドでの誘導に汗する尊い姿に学ばせていただきました。

「悪魔の隣人」の隣人。そのタイトルに心を惹かれる。毎日新聞での連載記事をまとめた本書は、宗教学者であり僧侶でもある釈徹宗氏と、毎日新聞の取材班が関西エリアを中心に、さまざまな信仰の現場を訪ね歩き、まとめられたルポである。

現代社会は、すぐ近くに悪魔・悪しき者は、尊師はわたしのことを知っておられるのだ。幸せな方はわたしのことを知っておられるのだ」と気づいて、打ち萎れ、憂いに沈み、その場で消え失せた(中村元「ブッダ 悪魔との対話」一四頁他)。

「最近の若者は…」という苦言がピラミッドの内部壁面に落書きされているとのことですが、出会わせていただいている京大生は真面目に満ちた、「素敵な若者」です。私は、学生が教員になった際に役立つよう丁寧な板書に心してきました。パワーポイント画面の記載内容を資料として配付する形態が多くなった近時でも、板書を中心とした講義をすすめてきていました。配付資料を「読む」よりも、自ら「書く」方が主体的な学修法であり考える場を保障する言語活動であるからです。学生たちのノートづくりは実に見事な力作が目立ちます。「丁寧に、板書以外の説明まで書き留めていましてね」と褒めると「病気で休んでいる友だちが見ても分かるように…」と話すと学生の姿、『アカデミック・スキル』で1年生時に学修した「スペースには余裕を持つ」ポイントを活かして事後に用語説明等を書き加えている学生の姿に感動するものもありました。

短期大学部教育課程の魅力を増進する初等教育設置にかかる申請、履修上限単位設定やGPAをもとにした厳格な成績評価実施を伴う大学教育課程の改革、新寮新築や改築を前に何かと苦情が寄せられていた旧学生寮に於ける保護者・学生への対応、創立60周年記念教育研究発表会と「授業を語る会」の開催、そして、今般の現在も引き続きいる新型コロナウイルスに対応した新しい生活様式での小学校教育の推進等、異なる部局での、額に汗する職員による同質の連携の姿です。

また、附属小学校長としての日々では、例えば、授業公開に向けての研究授業、学習指導案の検討、作成に向けた協議に努める姿、また、時差を設けた登下校時にコロナ禍を避けるため自家用車で送迎する場を安全に保つことができるようグラウンドでの誘導に汗する尊い姿に学ばせていただきました。

「悪魔の隣人」の隣人。そのタイトルに心を惹かれる。毎日新聞での連載記事をまとめた本書は、宗教学者であり僧侶でもある釈徹宗氏と、毎日新聞の取材班が関西エリアを中心に、さまざまな信仰の現場を訪ね歩き、まとめられたルポである。

現代社会は、すぐ近くに悪魔・悪しき者は、尊師はわたしのことを知っておられるのだ。幸せな方はわたしのことを知っておられるのだ」と気づいて、打ち萎れ、憂いに沈み、その場で消え失せた(中村元「ブッダ 悪魔との対話」一四頁他)。

私が本学園に奉職した平成7年4月、阪神淡路大震災の影響で諸事に不便が多かった時期で、交通機関の不通、自宅の損壊等により、京都東山まで相当の労力と時間を費やして集ってくる学生たち。授業の少ない曜日には被災地でのボランティア活動に精励しながら出席している学生たちも多く、前任・広島大学附属東雲小学校での17年間に会った児童に通底する、物事に真摯に取り組もうとする態度、当たり前のことを当たり前に為すことができる真面目の豊かさに感動する日々でした。

「最近の若者は…」という苦言がピラミッドの内部壁面に落書きされているとのことですが、出会わせていただいている京大生は真面目に満ちた、「素敵な若者」です。私は、学生が教員になった際に役立つよう丁寧な板書に心してきました。パワーポイント画面の記載内容を資料として配付する形態が多くなった近時でも、板書を中心とした講義をすすめてきていました。配付資料を「読む」よりも、自ら「書く」方が主体的な学修法であり考える場を保障する言語活動であるからです。学生たちのノートづくりは実に見事な力作が目立ちます。「丁寧に、板書以外の説明まで書き留めていましてね」と褒めると「病気で休んでいる友だちが見ても分かるように…」と話すと学生の姿、『アカデミック・スキル』で1年生時に学修した「スペースには余裕を持つ」ポイントを活かして事後に用語説明等を書き加えている学生の姿に感動するものもありました。

また、附属小学校長としての日々では、例えば、授業公開に向けての研究授業、学習指導案の検討、作成に向けた協議に努める姿、また、時差を設けた登下校時にコロナ禍を避けるため自家用車で送迎する場を安全に保つことができるようグラウンドでの誘導に汗する尊い姿に学ばせていただきました。

「悪魔の隣人」の隣人。そのタイトルに心を惹かれる。毎日新聞での連載記事をまとめた本書は、宗教学者であり僧侶でもある釈徹宗氏と、毎日新聞の取材班が関西エリアを中心に、さまざまな信仰の現場を訪ね歩き、まとめられたルポである。

現代社会は、すぐ近くに悪魔・悪しき者は、尊師はわたしのことを知っておられるのだ。幸せな方はわたしのことを知っておられるのだ」と気づいて、打ち萎れ、憂いに沈み、その場で消え失せた(中村元「ブッダ 悪魔との対話」一四頁他)。

真面目力の学生の姿

私が本学園に奉職した平成7年4月、阪神淡路大震災の影響で諸事に不便が多かった時期で、交通機関の不通、自宅の損壊等により、京都東山まで相当の労力と時間を費やして集ってくる学生たち。授業の少ない曜日には被災地でのボランティア活動に精励しながら出席している学生たちも多く、前任・広島大学附属東雲小学校での17年間に会った児童に通底する、物事に真摯に取り組もうとする態度、当たり前のことを当たり前に為すことができる真面目の豊かさに感動する日々でした。

「最近の若者は…」という苦言がピラミッドの内部壁面に落書きされているとのことですが、出会わせていただいている京大生は真面目に満ちた、「素敵な若者」です。私は、学生が教員になった際に役立つよう丁寧な板書に心してきました。パワーポイント画面の記載内容を資料として配付する形態が多くなった近時でも、板書を中心とした講義をすすめてきていました。配付資料を「読む」よりも、自ら「書く」方が主体的な学修法であり考える場を保障する言語活動であるからです。学生たちのノートづくりは実に見事な力作が目立ちます。「丁寧に、板書以外の説明まで書き留めていましてね」と褒めると「病気で休んでいる友だちが見ても分かるように…」と話すと学生の姿、『アカデミック・スキル』で1年生時に学修した「スペースには余裕を持つ」ポイントを活かして事後に用語説明等を書き加えている学生の姿に感動するものもありました。

短期大学部教育課程の魅力を増進する初等教育設置にかかる申請、履修上限単位設定やGPAをもとにした厳格な成績評価実施を伴う大学教育課程の改革、新寮新築や改築を前に何かと苦情が寄せられていた旧学生寮に於ける保護者・学生への対応、創立60周年記念教育研究発表会と「授業を語る会」の開催、そして、今般の現在も引き続きいる新型コロナウイルスに対応した新しい生活様式での小学校教育の推進等、異なる部局での、額に汗する職員による同質の連携の姿です。

また、附属小学校長としての日々では、例えば、授業公開に向けての研究授業、学習指導案の検討、作成に向けた協議に努める姿、また、時差を設けた登下校時にコロナ禍を避けるため自家用車で送迎する場を安全に保つことができるようグラウンドでの誘導に汗する尊い姿に学ばせていただきました。

「悪魔の隣人」の隣人。そのタイトルに心を惹かれる。毎日新聞での連載記事をまとめた本書は、宗教学者であり僧侶でもある釈徹宗氏と、毎日新聞の取材班が関西エリアを中心に、さまざまな信仰の現場を訪ね歩き、まとめられたルポである。

現代社会は、すぐ近くに悪魔・悪しき者は、尊師はわたしのことを知っておられるのだ。幸せな方はわたしのことを知っておられるのだ」と気づいて、打ち萎れ、憂いに沈み、その場で消え失せた(中村元「ブッダ 悪魔との対話」一四頁他)。

上品の懺悔とは、身の毛孔のうちより血を流し、眼のうちより血出すをば上品の懺悔と名づく。(中略) 涙・流血等にあははずといへども、ただよく真心徹到するものは、すなはち上と同じ。

上品の懺悔とは、身の毛孔のうちより血を流し、眼のうちより血出すをば上品の懺悔と名づく。(中略) 涙・流血等にあははずといへども、ただよく真心徹到するものは、すなはち上と同じ。

仏弟子として守るべき戒や、教団の規則である律などを破ってしまった人は、罪に依りて「懺悔」をしなければなりません。懺悔は心から罪を恥じ悔いることです。懺悔にはレベルがあって、レベルの高い懺悔では全身の毛穴や目から流血しながら懺悔するとされています。どうやってもできそうにありません。

ところが、阿弥陀仏から与えられる真実の信心には、その懺悔と同じ価値があるというのです。反省するといつても血はおろか涙すら出てこない、出てくるのは自分は悪くない仕方がないというため息がせいぜいの私を見通して、仏弟子として必要なことを何から何まで用意して与えてくれるのが阿弥陀仏なのです。

短期大学部教育課程の魅力を増進する初等教育設置にかかる申請、履修上限単位設定やGPAをもとにした厳格な成績評価実施を伴う大学教育課程の改革、新寮新築や改築を前に何かと苦情が寄せられていた旧学生寮に於ける保護者・学生への対応、創立60周年記念教育研究発表会と「授業を語る会」の開催、そして、今般の現在も引き続きいる新型コロナウイルスに対応した新しい生活様式での小学校教育の推進等、異なる部局での、額に汗する職員による同質の連携の姿です。

また、附属小学校長としての日々では、例えば、授業公開に向けての研究授業、学習指導案の検討、作成に向けた協議に努める姿、また、時差を設けた登下校時にコロナ禍を避けるため自家用車で送迎する場を安全に保つことができるようグラウンドでの誘導に汗する尊い姿に学ばせていただきました。

「悪魔の隣人」の隣人。そのタイトルに心を惹かれる。毎日新聞での連載記事をまとめた本書は、宗教学者であり僧侶でもある釈徹宗氏と、毎日新聞の取材班が関西エリアを中心に、さまざまな信仰の現場を訪ね歩き、まとめられたルポである。

現代社会は、すぐ近くに悪魔・悪しき者は、尊師はわたしのことを知っておられるのだ。幸せな方はわたしのことを知っておられるのだ」と気づいて、打ち萎れ、憂いに沈み、その場で消え失せた(中村元「ブッダ 悪魔との対話」一四頁他)。

法のことは

法のことは、上品の懺悔とは、身の毛孔のうちより血を流し、眼のうちより血出すをば上品の懺悔と名づく。(中略) 涙・流血等にあははずといへども、ただよく真心徹到するものは、すなはち上と同じ。

仏弟子として守るべき戒や、教団の規則である律などを破ってしまった人は、罪に依りて「懺悔」をしなければなりません。懺悔は心から罪を恥じ悔いることです。懺悔にはレベルがあって、レベルの高い懺悔では全身の毛穴や目から流血しながら懺悔するとされています。どうやってもできそうにありません。

ところが、阿弥陀仏から与えられる真実の信心には、その懺悔と同じ価値があるというのです。反省するといつても血はおろか涙すら出てこない、出てくるのは自分は悪くない仕方がないというため息がせいぜいの私を見通して、仏弟子として必要なことを何から何まで用意して与えてくれるのが阿弥陀仏なのです。

短期大学部教育課程の魅力を増進する初等教育設置にかかる申請、履修上限単位設定やGPAをもとにした厳格な成績評価実施を伴う大学教育課程の改革、新寮新築や改築を前に何かと苦情が寄せられていた旧学生寮に於ける保護者・学生への対応、創立60周年記念教育研究発表会と「授業を語る会」の開催、そして、今般の現在も引き続きいる新型コロナウイルスに対応した新しい生活様式での小学校教育の推進等、異なる部局での、額に汗する職員による同質の連携の姿です。

また、附属小学校長としての日々では、例えば、授業公開に向けての研究授業、学習指導案の検討、作成に向けた協議に努める姿、また、時差を設けた登下校時にコロナ禍を避けるため自家用車で送迎する場を安全に保つことができるようグラウンドでの誘導に汗する尊い姿に学ばせていただきました。

「悪魔の隣人」の隣人。そのタイトルに心を惹かれる。毎日新聞での連載記事をまとめた本書は、宗教学者であり僧侶でもある釈徹宗氏と、毎日新聞の取材班が関西エリアを中心に、さまざまな信仰の現場を訪ね歩き、まとめられたルポである。

現代社会は、すぐ近くに悪魔・悪しき者は、尊師はわたしのことを知っておられるのだ。幸せな方はわたしのことを知っておられるのだ」と気づいて、打ち萎れ、憂いに沈み、その場で消え失せた(中村元「ブッダ 悪魔との対話」一四頁他)。



「相応部經典」「悪魔相応」 上野 隆平

釈尊の悪魔との闘いは、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。

「悪魔相応」に見え、成道前にかぎらず、成道後も絶えず行われていた。『相応部經典』に「悪魔相応」に見え、一群の悪魔は、その模様が詳しく説かれていた。そこには後の大乘仏教において超人化される釈尊とは別の、人間釈尊の生れ出し方が色濃く保存されている。



シリーズ 智慧の蔵 34 『異教の隣人』 釈徹宗 十日新聞「異教の隣人」取材班 晶文社 二〇一八年

